

目 次

序

第 1 章 建築設備設計基本要項

第 1 節	人員の決定	9
第 2 節	便所, 化粧室, 汽罐室, 厨房, 電気室, ポンプ室および 昇降機室等の広さ	9
第 3 節	諸 単 位	11

第 2 章 器具類, 水栓, 弁およびトラップ

第 1 節	器 具 類	16
第 2 節	水栓類および弁類	16
第 3 節	ト ラ ッ プ	16
第 4 節	水栓の瀉水量その他	29

第 3 章 管類およびその流量

第 1 節	管 類	35
第 2 節	管内の流量	35
第 3 節	流量の計算	38
第 4 節	各種管類の重量その他	45

第 4 章 給 水 設 備

第 1 節	給水設備	54
第 2 節	屋内給水	56
第 3 節	井 戸	59
第 4 節	地 下 水	60
第 5 節	揚水および水量測定	62
第 6 節	圧力水そうの計算	69
第 7 節	さく井と揚水装置の設計	71
第 8 節	エアー・リフトの設計	75
第 9 節	圧力水そうの使用材料	87
第 10 節	飲料用冷却水給水	89

第 5 章 消 火 栓 設 備

第 1 節	消 火 設 備	95
第 2 節	消火用ポンプ	95
第 3 節	消火栓の設計要項	95
第 4 節	消 火 器	99

第 6 章 給 湯 設 備

第 1 節	給 湯 設 備	102
第 2 節	局所給湯法および中央給湯法の湯沸装置	102
第 3 節	各種湯沸の計算	103
第 4 節	給湯の適当な温度	104
第 5 節	給 湯 量	104
第 6 節	配 管	105

第 7 章 排 水 設 備

第 1 節	屋内排水設備	111
第 2 節	屋内排水管の大きさの決定	111
第 3 節	屋 外 下 水	113
第 4 節	改良便所および水洗便所	113
第 5 節	平面酸化式し尿浄化そう	114
第 6 節	伝染病棟のし尿，雑排水および残飯の処理	116
第 7 節	放射性同位元素を含むし尿の処理	117
第 8 節	屋外下水の管径決定	118
第 9 節	排水配管その他	124
第 10 節	放射性物質を含む廃液処理	134

第 8 章 衛 生 陶 器 そ の 他 の 損 傷 と 対 策

第 1 節	損傷の原因	148
第 2 節	温度の変化による損傷	148
第 3 節	設計の不備ないし材料選択の誤りによる損傷	150
第 4 節	外力および腐食による損傷	156
第 5 節	施工上の不注意および材質の吟味	162
第 6 節	取扱上の不注意・不馴れによる損傷	164

第 9 章 ポンプ

第 1 節	ポンプ	166
第 2 節	ポンプの種類	166
第 3 節	ポンプの容量およびその他	167

第 10 章 汽 罐

第 1 節	汽 罐	188
第 2 節	気罐の容量	188
第 3 節	給気設備	191
第 4 節	蒸気表および各種気罐の容量表	194

第 11 章 工手間およびその他の資料

第 1 節	統計方法について	204
第 2 節	各種管類の加工並びに配管に要する工手間	204
第 3 節	衛生陶器の取付工手間	205
第 4 節	各種管類の接合材料および消耗品	206
第 5 節	根伐に要する工手間	209

第 12 章 給排水設備の設計例

第 1 節	給水設備	211
第 2 節	屋外排水施設	217
第 3 節	降 雨 量	221

第 13 章 取水・配水およびし尿浄化そうの設計

第 1 節	設計概要	229
第 2 節	給水量の算定	230
第 3 節	揚水ポンプの設計	232
第 4 節	圧力水そう	236
第 5 節	沈澱池および濾過池	237
第 6 節	防火貯水そう	238
第 7 節	集 水 管	238
第 8 節	し尿浄化そう	239

第 14 章 諸単位の比較および複単位

第 1 節	諸単位の比較	240
第 2 節	ボーマ度比重およびゼーゲル錐	244

